

下野市立国分寺東小学校

1 学校課題

「自ら考え、互いに高め合う児童の育成」

～算数科を中心に「聴き合い」・「伝え合い」を大切にした指導の工夫～

本校は、3年前から上記の研究主題を掲げている。算数科の指導に焦点を当て、児童の個人差に応じて、「学び合い」と「振り返り活動」を中心に研究してきた。

昨年度は、学力向上プロジェクト事業の対象校となり、「全国学力学習状況調査」と「とちぎっ子学習状況調査」の検証分析から、表現力や読解力に課題があることが分かってきた。また、学校評価の保護者の回答では、「自分の思いや考えを分かりやすく話すことができる」「学習した内容がよく分かっている」という項目が低かった。日々の指導の中でも、自分の考えを適切に説明することができなかつたり、聴き合うことができなかつたりする児童も少なくない。そこで、「聴き合い」「伝え合い」を大切にして、自分の考えを深めることを目指していきたい。



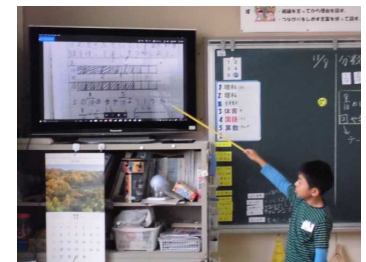
2 研究計画

(1) 全体研修

- ・研究の目的を明確にし、全職員の共通理解のもとに進める。
- ・授業研究の成果と課題を整理して、次回に生かせるようにする。

(2) ブロック研修・個人研修

- ・要請訪問やS&Uでの授業研究会は、授業学年のブロックを中心として事前検討し、全職員で研究会をもつ。
- ・校内授業研究は個人で進め、校内の職員に公開する。



3 研究内容

(1) 具体策 (◎…本年度の重点)

①授業研究の充実

- ・「学習するときの約束」「学習スキル」の徹底
- ・興味関心を高める効果的な導入の工夫
- ・ねらいを明確にした、分かる授業の実践

◎文章の読み取りの工夫

◎学び合いを大切にした授業の展開

◎振り返り活動の工夫

- ・学年内での教材研究の時間の確保
- ・異学年授業体験の実施

②朝の活動の有効活用

- ・学習タイム(基礎的・基本的な内容の習熟)の実施 (T Tの活用)
- ・読書タイム(物語・説明文)の実施

③個に応じた学習活動

- ・補足的、発展的な学習の実施 (パワーアップシートの活用)

◎ノート指導の定着と充実

④I T機器の効果的な活用

- ・課題の提示、画像での説明、振り返り、作品制作などでの活用
- ・教材として蓄積されたソフト等の活用(教材コンテンツ)

⑤指導体制や学習形態の工夫

- ・一斉指導
- ・習熟度に応じたコース別学習
ペアワークやグループ活動
- ・少人数指導 (T T指導)



⑥家庭学習の習慣化

◎家庭と連携した家庭学習習慣の定着（家庭学習カードの工夫）

- ・児童同士の情報交換
- ・学級懇談会の工夫、学年通信での啓発
- ・家読推進による家庭での読書の習慣化
- ・親子で学習について話し合う習慣の啓発（学習プリントの活用・行事の感想）

⑦小中一貫との関連

- ・国分寺中学校区の目指す児童像「学び合い高め合う子ども」を意識した授業の推進

（2）研究の実際

日時		学年	研究授業（教科・単元など）	指導者
5 / 10	校内研究授業	5	家庭「おいしい楽しい調理の力」	
5 / 28	校内研究授業	5	算数「わり算の筆算」	
6 / 9	校内研究授業	6	社会「武士による政治のはじまり」	
6 / 21	校内研究授業	3	社会「市ぜんたいのようす」	
6 / 22	校内研究授業	4	音楽「ひょうしとせんりつ」	
6 / 28	校内研究授業	5	算数「少数のわり算」	
6 / 28	第1回要請訪問	3	算数「あまりのあるわり算」	白石孝子先生（市教委）
6 / 29	校内研究授業	特	国語「おむすびころりん」	
7 / 6	校内研究授業	5	国語「ひろがるつながるわたしたちの読書」	
7 / 10	校内研究授業	1	生活科「おおきなあれ」	
7 / 10	S & U 出前授業	4	算数「わり算のひっ算」	神保元康先生（宇大附小） 白石孝子先生（市教委）
9 / 12	初任研正式訪問	5	算数「分数の大きさとし算、ひき算」	吉田達也先生（下事務所） 稲見雄太先生（市教委）
9 / 13	下野市道徳研修	4	道徳「百点を十回取れば」	岡本直美先生（市教委）
9 / 15	校内研究授業	6	算数「円の面積」	
9 / 12	校内研究授業	2	国語「どうぶつ園のじゅうい」	
10 / 11	S & U 出前授業	4	国語「プラタナスの木」	皆川美弥子先生（宇大附小）

4 本年度の成果と課題

（1）研究の成果

- ・研究授業では、教職員が意欲的に取り組み活発な話し合いができ、課題を次に生かすことができた。また、「見せ合い授業」や「異学年授業」に積極的に取り組み、授業改善のための意識が高まってきた。
- ・「算数のノートの書き方」を全校体制で取り組み、身に付いてきた。
- ・家庭学習カードを工夫したり、家読リレーを継続したりできた。
- ・ペア学習やグループ学習を取り入れ、聴き合いながら授業を進めることが定着してきた。
- ・朝の活動や授業中にフォローアップシートやパワーアップシートなどにより補充学習ができた。



（2）今後の課題

- ・ICT機器の活用が進められるなか、更にねらいに迫るために効果的な手段として活用していきたい。
- ・ねらいを明確にし、振り返り活動と一貫性のある授業を進め、授業改善などの工夫をしていきたい。
- ・更に、「聴き合い」「高め合い」「深い学び」ができるよう授業研究を中心に進めていきたい。